

主な出来事

【内政】

- 10～19日、新閣僚が就任した。
- 11日、上下院議長及び副議長が選出された。
- 13日、前保健・育児大臣は、職権濫用の疑いで逮捕された。
- 19日、第9国会開会式でムナンガグワ大統領が一般教書演説を行った。
- 19日、8月1日に発生した野党支援者及び軍の衝突事案を調査する諮問委員会の委員が就任宣誓を行った。
- 野党 NPF の解党及び与党への合流
- 19～21日、主な官僚人事が発表された。

【外政】

- 1～6日まで、ムナンガグワ大統領はFOCAC首脳会合に出席した。
- 11～12日まで、ベラルーシ大統領府長官が当国を訪問した。
- 20～28日まで、ムナンガグワ大統領は、国連総会に出席した。

【経済】

- ジンバブエ統計局は、8月のインフレ率を4. 8 3%と発表し、当国のインフレ率が急激に上昇している旨明らかにした。
- 26～28日、当地ブラワヨでジンバブエ産業連盟（C Z I）の年次総会が開催され、カーマ前ボツワナ大統領が特別ゲストとして出席した他、日本並びにインド企業が参加した。

【内政】

● 閣僚の就任

10～19日、大臣20名、副大臣15名及び国務大臣12名の閣僚が、ムナンガグワ大統領、チウエンガ副大統領及びモハディ副大統領臨席の下、就任宣誓を行った。（10日付国営放送、12日・20日付ヘラルド紙）

● 上下院議長及び副議長の選出

11日、当国国会下院においてムデンダ議員（Jacob Mudenda）及びゲズィ議員（Tsitsi Gezi）（両名ともZANU-PF）がそれぞれ議長及び副議長として選出された。また、同日、上院において、チノモナ議員（Mable Chinomona）及びニャンブヤ議員（Mike Nyambuya）（両

名とも ZANU-PF) がそれぞれ議長及び副議長として選出された。(12日付ヘラルド紙)

● 汚職容疑に係る前保健・育児大臣の逮捕

13日、パレリニャトワ前保健・育児大臣は、職権濫用の疑いで逮捕され、ハラレ地方裁判所において、条件付の保釈が認められた。(14日付ヘラルド紙・ニュース・デー紙)

● 第9国会開会式における大統領による一般教書演説

18日、ムナンガグワ大統領は、第9国会開会式において、一般教書演説を行ったところ、概要以下の通り。

- ✓ 国会議員は、国民に奉仕するリーダー (servant leaders) として、努力を惜しまず働く必要がある。
- ✓ 当国政府は、経済開発、国際社会との関与・再関与、マクロ経済環境及び財政の安定化、公的機関の改革、インフラ開発など取り組む。
- ✓ 農業、鉱業は、当国経済の復興及び成長のために重要な分野の一つである。
- ✓ 汚職撲滅に関して、公務員が進んで良い手本となることを要求する。
- ✓ 国会議員全員が、国民からの約束を担った国民に奉仕するリーダーとして、立法に関する業務を推進することを強く求める。(19日付ヘラルド紙)

● 8月1日の暴力事件に関する調査委員会の就任宣誓

19日、8月1日に発生した野党支援者及び軍の衝突事案を調査する諮問委員会の委員7名が迎賓館 (State House) で就任宣誓を行った。各委員は以下の通り。

- ✓ 委員長 モトランテ (Kgalema Motlante) 元南ア大統領
- ✓ 委員 ディクソン (Rodney Dixon) 弁護士 (Queen's Counsel、英国)
- ✓ 委員 アニャヨク (Emeka Anyaoku) ・ コモンウェルス元事務局長 (ナイジェリア)
- ✓ 委員 ムワムニャンゲ (Davis Mwanunyangwe) 退役将軍 (タンザニア)
- ✓ 委員 マニエルケ (Charity Manyeruke) 政治学教授 (ジンバブエ)
- ✓ 委員 マドウク (Lovemore Madhuku) 憲法学教授 (ジンバブエ)
- ✓ 委員 ネエンバ (Vimbai Nyemba) 元ジンバブエ法曹協会会長 (ジンバブエ) (20日付ヘラルド紙)

● 野党 NPF の解党及び与党への合流

19日、野党 NPF (National Patriotic Front) 率いるムティニリ氏は、ムガベ大統領の失脚につながった昨年11月の政変がジンバブエの国益に最も適しているとの結論に至り、当初の存在意義が無くなったために、同党を解党し、与党 ZANU-PF に合流し、現政権を支援する旨述べた。(21日付ヘラルド紙・ニュース・デー紙)

● 主な官僚人事の発表

19～21日、シバンダ大統領府長官は、主な官僚人事を発表した（20～22日付ヘラルド紙・ニュース・デー紙）

【外政】

● ムナンガグワ大統領によるFOCAC首脳会合出席

1～6日まで、ムナンガグワ大統領は、北京で行われる中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）首脳会合に出席のため、訪中した。2日、FOCAC閣僚級会合に出席していたモヨ外務・国際貿易大臣は、当国は、FOCACの下で経済協力の可能性を探っている旨述べた。4日、「ム」大統領は、同首脳会合において、強化された相互の関係性、融合及び包括的な開発の実現、FOCACの理念、中国企業との関係などについて演説を行った。また、5日、FOCACのために訪中しているムナンガグワ大統領は、周国家主席と首脳会談を行い、両首脳は、犯罪を行った者の交換を可能とする枠組み、中国による当国の柑橘類輸入及び井戸の支援に関する3つの合意書に署名した。（2日付サンデー・メール紙、3～5日付ヘラルド紙）

● ベラルーシ大統領府長官による当国訪問

11日、2日間の予定で当国を訪問しているシェーマン・大統領府長官（副大統領職と同格）は、ムナンガグワ大統領と会談した。右会談で、「シェ」長官は、ルカシェンコ・ベラルーシ大統領が、「ム」大統領の就任の祝辞を述べると共に、できるだけ早い時期に「ム」大統領を国賓として、ベラルーシに招待したいことを述べた。（12日付ヘラルド紙）

● ムナンガグワ大統領による第73回国連総会出席

20～28日まで、ムナンガグワ大統領は、第73回国連総会出席のため、訪米した。27日、「ム」大統領は、同総会において、貧困削減、コマンド・アグリカルチャー、当国で行われた総選挙、経済発展、安全保障、国連、パレスチナ、西サハラ、気候変動について演説を行った。また、「ム」大統領は、訪米中、以下の各国首脳などと会談した。

- ✓ ボールドウィン英国アフリカ担当閣外大臣（24日）
- ✓ ラタス・エストニア首相（24日）
- ✓ ナギー米国アフリカ担当国務次官補（25日）
- ✓ ガーネム世銀アフリカ担当副総裁（26日）
- ✓ スコットランド英国連邦事務局（26～28日付ヘラルド紙）

【経済】

● 当国のインフレ状況

21日付ヘラルド紙及びデイリー・ニュース紙は、ジンバブエ統計局（ZIMSTAT）が8月の当国のインフレ率（年率）を発表し、前月から0.54%ポイント上昇して4.83%を記録し、インフレ率が急激に上昇している旨報じた。

● 豪企業による油田探査結果

24日、豪企業の Invictus Energy Limited 社は、初期調査の結果、中央マシヨナランド州に位置する Cabora Bassa Basin において油田が存在する可能性がある旨明らかにした。（26日付ヘラルド紙）

● 米企業による太陽光発電事業への投資

25日付ヘラルド紙によると、当地不動産会社の Craft Properties Private Limited 社は、全国で実施される180億ドル規模の太陽光発電事業に関する事業のパートナーシップを米企業と結んだ。本事業は、来年早々に開始される予定で、完了時には、全国送電線網に900MWを追加することになる。

● CZI年次総会

26～28日、当地ブラワヨでジンバブエ産業連盟（CZI）の年次総会が開催された。本総会には、カーマ前ボツワナ大統領が特別ゲストとして出席した他、ンロヴ産業・通商・企業開発大臣、ヌーベ・ブラワヨ担当国務大臣、マラピラ副大統領府担当国務大臣等の閣僚が出席した。また日本並びにインド企業の参加もあった。（26～28日付ニュース・デー一紙、28日付デイリー・ニュース紙、10月1日付サンデー・メール紙）